

関東教区通信

No.179

2025年4月27日

発行者 日本基督教団関東教区
 事務所 総会議長 熊江秀一
 〒330-0844 さいたま市大宮区下町3-39
 電話 048-647-0862
 ファックス 048-647-0978
 郵便振替 00140-3-67727
 Eメール kantou@air.ocn.ne.jp
 URL <https://uccjkanto.holy.jp/index.htm>

沈黙はやがて歌に変えられる

ヨハネによる福音書20章19~29節

村上教会牧師 池田 純平



イースターおめでとうございます。

新潟も冬がようやく終わりを迎える、牧師館の庭ではクリスマスローズが咲き、チューリップや芍薬（シャクヤク）が芽を出しました。讃美歌21の575「球根の中には」の歌詞が思い出されます。

イエスと共に宣教活動をしてきた弟子たちは、イエスの逮捕と十字架によってその活動が強制終了させられます。ペトロは、「あなたのためなら命を捨てます」（ヨハネ13:37）とまで言い、イエス逮捕時には剣で抵抗をしましたが、その後、周囲からイエスの弟子だと指摘されると、三度もそれを否定してしまいます。弟子たちは、イエスが自らの復活について語っても、ラザロのよみがえりを目の当たりにしても、「わたしは既に世に勝っている」（ヨハネ16:33）と言われても、イエスの十字架による死を受け入れられませんでした。空の墓を見ても、マグダラのマリアから復活のイエスに会ったことを聞いても、「ユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた」（ヨハネ20:19）のです。彼らの心にはどのような思いがあったか。もしも、あの時…自分がこうしていたら…今もイエスといっしょにいられたのではないか？自分が思っていた未来が取り去られた喪失感と、後悔・罪の意識が渦巻いていたことでしょう。その思いを言い表しているのが、弟子のトマスです。共観福音書には名前しか出てこないトマスですが、ヨハネには3回も登場し、イエスに無理解な言葉を発しています。この聖書箇所でもまるで不貞腐れたかのように復活を信じることができないと発言します。

私の好きな絵本作家のヨシタケシンスケさんは、普段ユーモアのある作品で有名ですが、ご自身の喪失体験をもとに描かれた『もしものせかい』（2020年/赤ちゃんとママ社、2025年2月ポプラ社から再刊行）という絵本を紹介します。

「きみが どうしても／できなかつたことや、／ずっとといっしょにいたかつたひとや／かわってほしくなかつたもの。／きみのめのまえからきえてしまつて、／『もしもあのとき…』って／おもいだすもの。／それはみんなもしものせかいに／いるんだ。」（著書より引用）。

ヨシタケさんは喪失感や後悔を“もしものせかい”と表現します。大切なものが“いつものせかい”から“もしものせかい”に行ってしまったらいつも”は小さくなつて立つていられなくなりそうだけど、“もしも”はエネルギーのかたまりとして、今もそばにあって“いつも”をまた大きくしてくれる、と猫に持ち去られたロボットが少年に語りかけるお話です。

なくなってしまった未来が“もしものせかい”として存在している、それはなんだか信仰に似ているな、と思います。

イエスの復活は神様が私たちを見捨てていないことを証ししています。復活のイエスがシャロームと言って弟子たちに現れたことにより、トマスたちの後悔は解放され、再び歩みを起こす勇気が与えされました。ヨシタケさんの言葉を借りるならば、小さくなつていた“いつものせかい”が神様によって大きくなつたのです。“もしものせかい”にいる後悔や罪の意識と向き合うのは辛いことですが、「おそれは信仰に、死は復活に、ついに変えられる」（21-575）、そのことを信じることで“いつものせかい”がゆっくり大きく変えられるのだと思います。

第75回関東教区総会のご案内

教区副議長 田中かおる

第75回関東教区総会は、2025年5月20日(火)～21日(水)に、昨年に引き続き「ソニックシティ小ホール」(大宮駅西口)を会場に開催いたします。ソニックシティの利点は、なんといっても聖餐式執行が可能なことです。年に一度、教区総会の場で共に主の聖餐に与えることができるは、「キリストにあってひとつ」を体現できる大切な時です。主の聖餐に共に与ることのできる恵みに感謝します。

今回は、『お弁当』の手配はしないことになりました。恐れ入りますが、会場近辺の飲食店をご利用ください。食事時間は1時間15分ずつ確保いたしましたので、有効にお使いください。なお、ホール内は、飲食持ち込み禁止ですが、ロビーでの飲食は可能です。

会場は換気などの感染対策は十分なされており、マスク着用などの規制はありません。従いましてマスク着用は任意としますこと、ご了承ください。

今年の教区総会の議案とタイムスケジュールについては、後日送付される「第75回教区総会『議案・報告書』」をご覧ください。「目次」には、今総会期で扱う議案・報告の全表題が記載されています。またタイムスケジュールは「仮執行順序(案)」をご覧ください。議員の皆さまは予めお読みいただいた上で総会にお臨みいただくようお願いいたします。

受付は午前9時半からです。午前10時には登録を済ませ、当日お渡しする資料の袋に記載された所定の席にお座りください。遅れないようにご協力ください。

袋の中には名札が入っております。議員証として選挙・採決時に必要ですので、会場では常に目につきやすいところにお付けください。

教区総会は開会礼拝から始まります。御言葉に聞き、聖餐に与り、祈りと賛美を獻げ、主にすべてを委ねて総会を開始いたします。

その後、「組織会」「議事Ⅰ」に入ります。総会

のための委員や奉仕者を選任いたします。

続いて、「来賓紹介」「新任教師紹介、隠退教師紹介」をいたします。

昼食後、「関係学校・団体報告」に続いて、「准允式」を執行します。これは教区総会に委ねられている「教師をたてる」大切な式です。教師の誕生を主の前に共に喜び、祝いましょう。

教団の問安使挨拶は、2日目の昼食前になります。今年は、雲然俊美教団議長をお迎えします。教団議長からのご挨拶を得て、質疑応答の時いたします。

①選挙：教区議長、副議長、宣教部委員長、常置委員の選挙が行われます。

②「教区活動方針」：今年度の関東教区宣教活動の柱となる議案です。伝道が推進されることを願っての方針です。活発なご意見、議論を共に交わした上で採決へと導かれますことを願っております。なお、以下の協議会がこれに連動します。

③全体協議「教区内の宣教協力の恵みを分かち合う」：各地区における課題の共有、佐渡伝道、益子伝道、栃木県北伝道の取り組みをそれぞれ発題していただき、協議します。1日目の夕食前に開催です

④「ナルドの壺献金」および教会互助に関する件：今総会期も1,200万円の献金目標額を提案いたします。互助による教区協力伝道によって、諸教会・伝道所の伝道が推進されることを願っております。お祈りと共にご協力を願いいたします。

なお、2日目午後には、逝去教師と信徒の追悼祈祷が獻げられます。共に祈りを獻げましょう。

このほか、予算・決算等、法定議案も一つ一つが大切です。限られた時間で多くの議案審議を行います。円滑で内容豊かな協議となりますように、ご協力を願いいたします。

主の御導きを祈って…

第75回関東教区総会開催のお知らせ

〈公 告〉

第75回関東教区総会を教団規則第65条および教区規則第15条、17条に従って、下記の通り開催いたしますので、議員の皆様は登録の上、ご出席をお願いいたします。

日 時：2025年5月20日(火) – 21日(水)

会 場：さいたま市・ソニックシティ小ホール

(〒331-0852 さいたま市大宮区桜木町1-7-5 TEL 048-647-4111 Fax 647-4159)

宿 泊：パレスホテル大宮 (〒331-0852 さいたま市大宮区桜木町1-7-5 TEL 048-647-3300)

スーパーホテルさいたま大宮駅西口

(〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-12-6 TEL 048-645-9000)

[主な議題]

- (1) 仮執行順序承認の件
 - (2) 振手札・准允式執行に関する件
 - (3) 教区議長報告
 - (4) 教区総会議長選挙に関する件
 - (5) 教区総会副議長選挙に関する件
 - (6) 教区総会書記選挙に関する件
 - (7) 教区宣教部委員長選挙に関する件
 - (8) 常置委員選挙に関する件
 - (9) 各部委員選挙に関する件
 - (10) 常任・特設委員会委員選挙の件
 - (11) 2025年度関東教区活動方針に関する件
 - (12) 秋季振手札執行の件
 - (13) 「ナルドの壺献金」推進の件
 - (14) 「会堂・牧師館建築緊急貸出基金」献金推進の件
 - (15) 教育費互助奨学金献金推進の件
 - (16) 「2025年度教団部落解放センター活動献金」推進の件
 - (17) 2025年度宣教部活動計画に関する件
 - (18) 2025年度教師部活動計画に関する件
 - (19) 2024年度一般会計決算承認の件
 - (20) 2025年度教区歳入歳出予算案承認の件
 - (21) 教会記録審査を、各地区委員会に委託する件
 - (22) 教区総会設営委員会設置に関する件
 - (23) 「第71回教区総会議案第17号関東教区教会負担金の誤差修正に関する件」の終了に関する件
 - (24) 第75回教区総会議事録承認の件
 - (25) 次期第76回教区総会開催に関する件
- その他

*議案・建議・請願を考えておられる方へ。議案は総会開会40日前まで（4月10日）に議員10名以上の同意を得て、また、建議・請願は総会開会21日前までに議員5名以上の同意を得て、総会議長宛で教区事務所へご提出ください。経費を要する議案・建議・請願は、収支予算案を必ず添付してください。議案は議員が提出でき、建議・請願は関東教区内の教師および信徒が提出することができます。

*なお、新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、開催の形式が変更になる場合があります。

2025年3月1日

日本基督教団関東教区 総会議長 熊江 秀一

地区だより

新潟地区



地区長 小池 正造

新潟地区総会が東中通教会を会場に3月9日（日）15時より正議員29名の出席を得て、開催されました。開会礼拝では3月末で新潟地区を去る田村敏紀教師（新津教会）の御言葉に聞くことから総会を始めました。

地区活動方針が可決され、6月頃に地区祈祷会の開催、地区デー交換講壇を7月13日に開催、秋に小規模教会懇談会（名称変更が課題）をすることが決まりました。更に、昨年度に引き続き教会訪問をし、それぞれの教会が抱える課題について、地区が寄り添えるように準備をしていきます。予算についても、表記について一部修正をして可決されました。

地区委員会からの提案議案によって、主任担任教師が補教師である教会・伝道所に対して聖礼典執行に関わる正教師の交通費補助を継続して行うことが提案され、可決されました。

昨年の地区総会において、教師の議員資格を教会の主体によって、教師議員を選出することを、試験的に実施することを提案し、可決されました。これを受け、今総会においては教師正議員として担任教師を登録する教会も見られました。

佐渡伝道推進について、ここ数年にわたり献金が目標額、また支援額に追いついていませんでした。今年度5つの取り組み（①教会紹介動画の作成、②カラー版佐渡だよりの発行、③振込用紙の工夫、④佐渡教会教職の派遣、⑤その都度献金状況を報告する）を行い、目標額には達しませんでしたが、支援額を超える献金をいただきました。感謝をいたします。



群馬地区



地区長 藤田 基道

【人事】11月30日（土）教区秋季按手礼式にて鵜崎寿教師（群馬町教会）が受接。2024年度末をもって地区で55年間仕えた村田元教師（群馬町教会）が隠退。また、川上純平（太田八幡教会）教師が退任。4月より、鵜崎寿教師が群馬町教会主任担任教師着任。

【活動】10月14日（月）「みんなの集い」を開催。全世代参集。ゲームやバーベキュー等して交流しました。11月23日（土）、共愛学園中学校礼拝堂において地区大会「一緒に笑って、共に歩もう！」を開催。2025年度・2026年度の地区大会実行委員会を群馬地区南部の教会が担うことになりました。群馬地区北部の教会はそのサポートの権利があります。



▲地区大会で説教を担当した朝日研一朗牧師（安中教会）

1月19日（日）、第2回地区懇談会を前橋教会で開催。発題「牧師がいない時の礼拝をどうするか／牧師がいない時の礼拝は可能か」川上盾（じゅん）教師（前橋教会）。発題後、グループに分かれて意見が交わされました。お互いの状況を知り、方法を見いだし、希望が与えられました。次年度以降も懇談会などを通して共に働くことを望みます。3月19日（水）～20日（木）渋川教会、伊香保グリーン牧場で青年のお泊まり会を実施。2月に3回新潟県十日町と福島県猪苗代へ、地区から

三浦啓教師を派遣。要請に応えて雪掘りを支援。教区雪掘りキャンプに参加。群馬地区各部・各委員会の担い手が減っています。これからどうするかが課題です。3月9日（日）開催群馬地区総会において審議し、群馬地区の宣教協力の議案を可決。専従牧師がない各教会応援のため、月1回礼拝説教を各教師が担い、送り出す教会も牧師のいない礼拝を体験します。

栃木地区

地区委員長 高崎 正芳

3月16日（日）に2025年度地区総会が開かれ、今野善郎牧師（那須塩原伝道所）が新地区委員長に選ばされました。「ウイズコロナ」から「アフターコロナ」へ駆け抜けた2期4年を何とか終えて、《練達》の教師に地区委員長の責任を無事引き継ぐことができ、ホッとしています。

栃木地区の現況についてお話しすると、前年度最後の地区委員会の席上で、地区内の教会が財政的に逼迫していることが話題になりました。そのために複数の教会が後任牧師を招聘できず、代務者の選任にも苦労しています。

そうした状況下で栃木地区は「益子伝道を推進する会」をつくり、益子教会の宣教活動を支援しました。県北にある5教会（那須塩原伝道所、西那須野教会、塩谷一粒教会、矢板教会、氏家教会）は「栃木県北伝道協力会」を立ち上げて、共同牧会の取り組み（交換講壇、研修会等）を始めています。関東教区で最も小さな地区が、地区内の教会の課題とどう向き合うのか。今野地区委員長のリーダーシップのもと新年度がスタートします。

最後に、今まで地区の課題を共に担ってくださった教師、これから一緒に担っていく教師の異動について報告します。佐野教会の松井初牧師は病気療養のために2024年4月に辞任し、7月19日に療養先の病院で逝去されました。4月に佐野明子牧師（塩谷一粒教会）が代務者に就任予定です。宇都宮東伝道所の森田泰司牧師は2024年9月に辞任・転任し、管家英治牧師が代務者に就任しました。益子教会は大下陽子伝道師が担任教師に就任し、正人牧師と二人体制となりました。足利教会

の望月麻生牧師（2018年就任）、宇都宮上町教会の武石晃正牧師（2021年就任）は2025年3月をもって辞任・転任をされます。



茨城地区

地区長 上原 秀樹

3月9日（日）午後2時よりTCC会館において2025年度茨城地区総会が開かれました。本来、手東信吾地区長が議長をされる予定でした。しかし、手東先生は昨年9月に天に召されました。茨城地区として痛恨の極みでした。代わりに地区長となつた上原が最初に手東先生の思い、地区諸教会の協力と交流等をこれからも継承したいことを述べ、祈りによって総会が開会しました。教区の問安使として飯塚拓也師、宣教部からジョナサン・マッカーリー師がお越しくださいました。

今年度は、地区長、地区委員改選の年であり、以下のように選ばれました。地区長上原秀樹師（筑波学園）、地区委員（教職）池田季美枝師（牛久）、嶋田恵悟師（土浦）、鈴木光師（勝田）、橘秀紀師（水戸）、成田顕靖師（日立）、（信徒）富永研司兄（日立）、服部利明兄（筑波学園）

▼TCC会館での総会風景



今総会で「教職健康診断支援金の新設に関する件」が、地区委員会から提案されました。提案趣旨「近年、茨城地区では複数人の牧師が天に召されました。…早期発見により治療する病、事例が多数あります。…社会一般の事業所では、35歳を過ぎ

ると健康管理の一助として人間ドック検査を受診することが求められています。その福利厚生に倣い、教職健康診断支援制度を創設したいと提案する次第です」。人間ドックの検診に対して2年に1度、1名2万円の補助を行うもので、年間予算20万円。多くの意見がありました。詳細は地区委員会に付託するということで可決されました。諸教会、伝道所が牧師の健康に关心を持つきっかけになる提案、話し合いが行われたと思います。

埼玉地区

地区委員長 栗原 清

埼玉地区は2024年度、深谷教会に佐藤嘉哉先生を迎える。秋季按手礼式では大宮教会担任教師の甲賀正彦先生が受按されました。そしてこの3月をもって、北本教会の阿部洋治牧師と、本庄教会の疋田國磨呂牧師が隠退され、飯能教会の木村光寿牧師、上尾使徒教会の武井アイ子牧師、越生教会の佐藤彰子牧師が地区外へと移られました。

2024年度は、コロナ禍による活動の制限が徐々に解かれて、地区内の委員会等の活動は次第にコロナ前に戻りつつある一年でした。8月のユースキャンプや7月の教師研修会は、一泊プログラムとなり、青年部のお泊り会も12月に行われました。しかし、地区全体としてはまだ影響が残っています。伝道部委員会はそれまでの集会等を行わず、教会・伝道所を訪問して現状を聞き、共に祈るという活動にシフトを替えました。壮年会も委員会等開催できないます。

活動の継続が難しくなり、現在活動休止中。その活動を地区委員会が委ねられ、「平和を求める8・15集会」「信教の自由と平和を求める2・11集会」では、それぞれ講演会を行いました。2025年度の全体修養会の講師は、8・15集会の木村利人氏をお招きします。

地区委員会主催の集会としては、11月5日（火）の伝道協力懇談会では、13教会・伝道所が集い、今後の伝道方策を具体的に語り合いました。また1月13日（月）の新年合同礼拝では48教会・伝道所199名が出席し、共に主を礼拝しました。

社会委員会は、桶川伝道所は高橋悦子先生が隠

退され、教会員の転会によって実質活動休止となりました。その場所で、12月より埼玉中国語伝道所が礼拝を立てており、主の御業に感謝。羽生の森教会も現在活動休止です。今後も地区が一致し、連帯して、主に仕える地区としての歩みがなされるように祈ってまいります。



▲上尾合同教会で開かれた埼玉地区総会

・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～

関東教区罪責告白を学ぶ会第5回

関東教区「日本基督教団罪責告白」を学ぶ会の第5回は、昨年9月27日（金）に開催する予定から延期されていた「教会弾圧への罪責」の2回目で、講師に原田彰久牧師(東京聖書学校吉川教会)を迎えて3月28日（金）に大宮教会を会場にオンライン併用で開かれました。

原田講師からは「たんなるセレモニーで終わらせないでいただきたい」との、1986年の第24回教団総会での「旧第六部・第九部教師及び家族、教会に謝罪し悔い改める集会」において、当時の日本基督教団ホーリネスの群委員長であった山岡磐師（初雁教会）が「罪責を告白する教会」に記されている表明の引用から始めて①信仰告白の堅持、②信仰告白と戦争責任告白、③日本基督教団の中の関東教区、そして「罪責告白」といった視点から話をうかがいました。

この後の第8回(最終回)は4月25日（金）に、「天皇崇拝と戦時下の日本」(全1回)をテーマに熊江秀一教区議長の講演を聞きます。いずれの会も教区のホームページから動画記録で視聴できます。ぜひアクセスしてください。

文責・町田さとみ（初雁教会）

・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～

第74回総会期 第5回常置委員会

教区書記 小池 正造

第5回常置委員会を4月15日に大宮教会で開催をしました。第8回常任常置委員会を2月25日に、第9回常任常置委員会を4月1日にリモートで行い、地区総会、教区総会に向けての準備をいたしました。

- ・宣教研委員会より、前回のデータによる教区内教会の状況に加えて、この10年で教勢が伸びている7教会へのヒアリング結果が報告されました。
- ・向山荘について、財務上の処理について意見交換をし、2年をかけて貸倒引当金を用いて処理をすることを確認し、執行は猶予することにしました。執行開始は、その都度教区総会ごとに確認をしていくことにします。また、向山荘跡地周辺（いもりが池周辺）の土地情報について共有をしました。
- ・教区総会について、教団間安使、来賓者などについて確認をしました。協議会を「地区内の宣教協力の恵みを分かち合う（仮）」とし、各地区からの伝道の課題の発題を受け、その後、佐渡伝道（新潟）、益子伝道（栃木）、栃木県北5教会伝道（栃木）の取り組みについての発題を受けることになります。教務教師・神学教師・巡回教師による教区総会推薦正議員の互選が行われ、与那城初穂（敬和学園高校）、野間光顕（敬和学園高校）、下田尾治郎（敬和学園大学）、古澤健太郎（共愛学園前橋国際大学）各師の当選を確認しました。女性担任教師による教区総会推薦正議員の互選が行われ、藤知佳（四條町）、神崎典子（新潟）各師の当選を確認しました。総会特別委員、各部委員の選出を行いました。次期総会会場候補を今年度に引き続きソニックティ小ホールとすることを決めました。
- ・春季准允希望者北田翔太郎氏（上尾使徒教会主任担任教師就任予定）、佐藤潤氏（大宮教会担任教師就任予定）の面接を行い、5月20日教区総会の中で、執行することを決めました。
- ・2025年教区総会議長報告について、意見交換をし、教区総会の議案とすることを決めました。
- ・2025年度教区活動方針について、意見交換をし、教区総会の議案とすることを可決しました。
- ・2025年度教区予算について、地区総会で配付した予算案に、年度末で確定をした繰越金、予備費の額を加えて確認をし、教区総会議案とすることを決めました。

- ・2025年度宣教部活動計画について、意見交換をし、教区総会議案とすることを決めました。
- ・教区総会議員提案議案として、二宮めぐみ教師より、「女性担任教師の推薦正議員を5名に変更する件」が出されました。一部修正をし、教区総会議案とすることを決めました。
- ・年度をまたぐ集会の会計処理について、教区事務所との連絡を取った上で、3月25日で仮り締めをし報告をすることを、申し合わせとして決めました。
- ・益子伝道推進委員会より、益子教会が隣地を駐車場として購入することが報告されました。
- ・4月11日に会計監査を受けました。

・各種申請に関する件（敬称略）

（1）教会担任教師異動

新潟信濃町教会	辞 菊地恵美香（代・正）
	就 森田 泰司（主・正）
新津教会	辞 田村 敏紀（主・補）
	就 仲野 隆介（主・正）
宇都宮上町教会	辞 武石 晃正（主・正）
	就 村上 義治（主・正）
足利教会	辞 望月 麻生（主・正）
	就 森岡 高康（主・正）
飯能教会	辞 木村 光寿（主・正）
	就 吉永 直子（主・正）
牛久教会	辞 金子 敏明（担・正）
越生教会	辞 佐藤 彰子（主・正）
毛呂教会	就 金子 敏明（主・正）
	辞 濵谷 弘祐（主・正）
	辞 濵谷 実季（担・正）
久美愛教会	就 濵谷 実季（代・正）
	辞 熊江 秀一（代・正）
	就 濱谷 弘祐（主・正）
	就 濱谷 実季（担・正）
北本教会	辞 阿部 洋治（主・正）
	就 武田 真治（代・正）
本庄教会	辞 斎田國磨呂（担・正）
安行教会	辞 清水 義尋（担・正）
岩槻教会	辞 武田 真治（代・正）
	就 清水 義尋（主・正）
佐野教会	就 佐野 明子（代・正）

教区事務所だより

主事 金刺 裕美

主のご受難を憶え、その深い愛に感謝しつつ、イースターの朝を待つ日々です。

新しい年も、主の御支えと導きに従って、歩んでいきますようにお祈りいたします。

◎書類の提出、送れないようにしましょう。

たくさんの提出すべき書類をお届けしています。各提出書類はそれぞれに締切日が設定されていますので、どうぞ遅れないようにお送りください。特に、年度報告書等の提出が期日までには無理、という声もありますが、多少の遅れは大丈夫です。ただ、大幅な遅れは、次年度の教会負担金割賦案作成時に関係してきますのでご注意ください。

◎教区総会費用の納入について

第75回教区総会の参加費用・宿泊費の納入は、5/13（火）までにお願いいたします。

特に、パレスホテル大宮は、宿泊希望者が多いため、費用の納入順とさせていただきますので、どうぞご了承ください。

◎教団年金掛金互助申請について

財政困難なため、教団年金に加入できない教会の教師・教会への支援として「退職年金掛金互助」があります。希望される教師・教会は必要書類を整え、地区決裁後、教区事務所に5月末までの必着でご送付ください。

◎教区事務所の執務日・時間について

火曜日～金曜日 10時から5時

※土・日・祝は休日となります。留守番電話になっています。ご了承ください。

◎2024年度「教区一覧」追加・訂正

・埼玉地区 34越生教会 金子敏明師
住所 〒300-1216 牛久市神谷1-3-4
(通信物はこちらへお送りください。)

※2025年度教区一覧は8月頃になります。

社会保険事務だより

保険事務 金刺 裕美

コロコロと変わる気温に、体調不良の方が多くおられます。どうぞ、お体に気を付けてお過ごしください。

◎4. 5. 6月の社会保険料は。

毎年、同じことをお伝えしていますが、新年度の月額報酬額に変更がある場合でも、4. 5. 6月の保険料は従前と変わりません。上がり下がりに関係なく、2等級以上の変更は7月分から、1等級の変更は9月分から変更になります。変更のある方は教区事務所から通知をお送りいたします。

◎自動払込金額年間一覧表の送付

報酬報告書を基に、毎月の保険料・賞与保険料等を算出し、各個教会・伝道所ごとに1年間の自動払込金額表を作成します。6月中旬頃に送付できるよう準備しています。報酬額報告書の提出がない場合は、作成できませんので、早めにお送りください。

◎生活習慣病健診・特定健診について

年度内に1人1回、生活習慣病予防健診に対する補助が受けられます。自己負担額が下がり5,282円で一般健診が受診できます。(付加健診やがん検診、肝炎ウイルス検査を希望される場合は、少々金額が変わります。)ご自身の都合に合わせて、健診機関・日時を選び予約を取り受診してください。また、配偶者の特定健診の案内は、ご自宅に届きます。都合に合わせ受診してください。

◎マイナ保険証について

マイナンバーカードを保険証として利用登録する「マイナ保険証」で受診できます。システムを導入していない医療機関の場合は「資格確認書」を持参してください。確認証が必要な方は教区事務所へお申し出下さい。

編 / 集 / 後 / 記

年度末には季節外れの降雪のニュースがありました。教区通信179号が皆様のお手元に届く頃は、各地に暖かな春が訪れていることと思います。今号に原稿をお寄せ

くださった皆様ありがとうございました。各地区の報告や、関東教区総会などのお知らせが記載されております。教区の新年度の歩みの上に主のお導きと祝福が豊かになりますようにお祈り致します。
(新保恵子)